



尚絅大学 尚絅大学短期大学部

尚絅祭開催

九品寺キャンパス

令和7年7月12日(土)、13日(日)に九品寺キャンパスにて「爽涼祭」のテーマのもと、尚絅祭を開催しました。例年、11月に開催しておりましたが、今年は初めての夏開催に加え、オープンキャンパス、尚絅中学・高等学校の文化祭も同日開催となりました。

1日目は、模擬店他、かき氷早食い大会や浴衣美人コンテストなど、夏ならではの楽しいイベントを実施しました。2日目は、軽音楽部、ダンスサークルによるステージ発表とお笑い芸人「ママタルト」さんによるライブもあり、大盛況の2日間となりました。



浴衣美人コンテスト



ステージ発表

武蔵ヶ丘キャンパス

令和7年11月15日(土)、16日(日)に「第72回 尚絅祭～Bloom～」を開催しました。

今年のテーマは～Bloom～。こどもたちの笑顔をきっかけに、学生や地域の方々、教職員にも笑顔の花を咲かせたいという思いを込めました。

1日目は体育館でバケラッタとアイドルライブが行われました。バケラッタとは新聞紙や広告誌などを素材にして衣装を作り出して披露するファッショショードです。2日目は中庭に模擬店が出店され、屋外ステージでは、ステージ発表、SGC(尚絅ガールズコレクション)、お笑い芸人「アイロンヘッド」さんのライブがありました。体育館ではちびっ子ランドを設営し、笑顔が溢れる学園祭となりました。



バケラッタ



ステージ発表

令和7年度 尚絅公開講座開講

令和7年10月18日(土)、25日(土)、11月1日(土)の3日間にわたり、尚絅公開講座を開講しました。地球上の生命の歴史から現代社会を見つめ直すという思いを込めた「38億年の命～激動の時代を生きる～」をテーマに、食・教育・人間関係・AI・歴史など私たちの暮らしに深く関わる全9講座を開講しました。卒業生や地域の方々に受講していただき、大盛況のうちに終了しました。



尚絅公開講座

主食で栄養状態を維持することは可能か?
～高齢者の低栄養や勤労者の多忙な生活を○○が救う！？～
短期大学部 食物栄養学科 准教授 本田 順子
児童福祉の歴史から考える「家族」のありかた
～20世紀転換期イギリスを中心にな～
短期大学部 幼児教育学科 講師 草野 舞
AIとの共創による未来～急速な情報技術進化と生活～
短期大学部 総合生活学科 准教授 牧岡 毅
未来につなぐ！くまもとの郷土料理の価値
生活科学部 准教授 寺本 ミユキ
今、世界から注目される日本式教育～日本式教育の光と影～
生活科学部 教授 平野 修
交流分析と良好なコミュニケーションについて
こども教育学部 准教授 古川 隆幸
もっと知りたい！どう違う？日韓の幼児教育
こども教育学部 教授 鄭 英美
歴史が英語に与えたもの
現代文化学部 教授 竹下 裕俊
データサイエンスで見るアイドルの脱退インパクト
現代文化学部 教授 畠山 真一

令和7年度 夏季キャリアガイダンス

令和7年9月26日(金)に九品寺キャンパスにおいて夏季キャリアガイダンスを開催しました。

大学3年生と短大部1年生向けに実践を踏まえた就職活動準備講座として「模擬面接講座」「SPI対策講座」「キャリア講演」を実施しました。さらに、大学1・2年生向けに「学長講話」「金融リテラシー講座」「旅館若女将による地域創生講話」を実施し、早期からのキャリア形成に対する意識や就職活動に対する意識の醸成を強化しました。また、「WEB合同企業説明会」として、全学年を対象に企業研究が常時視聴できるようにオンデマンド形式の配信も行っています。



生活科学部

第2回食と科学のお祭り広場を開催しました。

令和7年10月26日(日)に、地域の中学生や一般の方を対象として、生活科学部で「第2回食と科学のお祭り広場」を実施しました。尚絅大学の学びを広く知っていただくために、食の楽しさや健康への関心、食と科学の関係などを学ぶことのできる各種ブースを設けて、「開かれた大学」として地域住民の皆様との交流を行いました。

第2回として昨年度に引き続き実施され、参加者は240名と多くの方々に楽しんで参加いただきました。来場者からは「小さい子どもがいたのですが、すごく親切にしてくださりありがとうございました」「対応がとても丁寧で、大学受験に向けてのモチベーションになった」と好意的な感想をいただきました。また、イベントの様子については、RKK熊本放送による取材も行われました。

本学部学生は、調理したお菓子や食品などの提供や、来場者の方々との積極的な交流を通じて、就職後の活動へつながる豊かな経験を得ることができました。



『城下町くまもと七夕まつり2025』でブースを出展

令和7年7月5日(土)、6日(日)の2日間、下通のアーケード街で「城下町くまもと七夕まつり」が開催され、生活科学部1年生がブースを出展しました。

当日は、人工イクラなどで知られる多糖類のゲル化反応を利用した、体験型ブース「つくろうカラフルぶにぶミニボール」を出展。果たして参加者がいるのだろうかという心配をよそに参加者500名を超える大人気ブースとなりました。梅雨明け直後の暑い2日間でしたが、シフトを組み、生活科学部1年生のほぼ全員が参加しました。また、折しもその週末は街中の大型ビジョンで尚絅大学のCMが流れ、商店街に並べられた机で学生達が子ども達の作品作りをサポートする様子は大学PRの絶好の機会となりました。

4月に入学したばかりの1年生でしたが、「なぜボールができるのか」を説明したり、参加者からのさまざまな質問に答えることで大学での学びを深めるとともに互いに協力することでクラス内の絆も深まりました。



幼稚教育学科

第38回サマーセミナーを開催しました。

令和7年8月2日(土)にリカレント教育の一環として、幼稚教育学科の第38回サマーセミナーを開催しました。幼稚園・保育所・認定こども園・地域型保育事業所・施設等で働く保育者の方々を対象として、保育の学びを深め、日々の保育の悩みを解消し、保育がさらに楽しくなるような講座を開講しました。今年度は、①子どもの運動遊び②ウクレレ伴奏法③アートで遊ぼう！④貧困・差別に立ち向かう保育実践の方法の4講座を開催。どの講座もとても熱心に受講してくださいました。懐かしい卒業生にも会うことができました。



尚絅子育て研究センター

第24回公開シンポジウムを開催しました。

尚絅子育て研究センターでは、保育の様々な課題に対する理解を深めていただくことを目的として、保育現場の先生方や子育てに関心のある皆様に向けて、学びの機会を提供しています。その一つとして、令和7年8月2日(土)に、第24回公開シンポジウムを開催しました。テーマは「子どもの貧困と保育」です。

まず、朝日新聞記者の中塚氏から、「くらしを背負ってやってくる子どもたち～子どもの背後にある家庭の貧困～」と題してご講演を頂きました。続いて、保育アドバイザーの平田先生から、くらしを背負ってやってくる子どもを中心に据えた保育実践について話がありました。そして、本学幼稚教育学科の増淵教授のコーディネートの下、「貧困や差別に立ち向かう保育」について対談が行われました。

子どもをどこから見るのがよって見え方は違うこと、園は子どもたちが最初に出会う社会であること、子どもをどのように捉えるのか、どういう社会を作っていくのか、保育ができるることは何であるのか等について、一人ひとりが深く考える機会となりました。



尚絅食育研究センター

「第12回尚絅ガールズ 豚肉レシピコンテスト」上位4点を学食で提供！

今年度の学食レシピコンテストには、生活科学部、短期大学部食物栄養学科・総合生活学科から、186点の応募がありました。その中でグランプリ・優秀賞を受賞した上位4点を、JA熊本経済連様にご協力いただき、熊本のブランド肉(りんどうポーク)を使って、学食で提供しました。うまいみたっぷりの豚肉に学生たちの斬新なアイデアが加わり、どの料理も大変好評でした。

この事業は、尚絅大学及び尚絅大学短期大学部同窓会のご支援をいただいて実施しました。

